

2024年度

インターンシップ等

報告書





はじめに

急速な少子高齢化により生産年齢人口が減少するなか、大学には、産業構造・ビジネスモデルの転換をリードする働き方・人材育成が求められています。「仕事と学びの好循環」の確立に向けて、学生や働き手が自らのキャリアをデザインする能力（自律的なキャリア形成力）を高める機会のひとつに、インターンシップ等のキャリア形成活動があります。

インターンシップに関する基本的認識や推進の方策については、「インターンシップを始めとする学生のキャリア形成支援に係る取組の推進に当たっての基本的考え方」(文部科学省、厚生労働省及び経済産業省合意)が、「採用と大学教育の未来に関する産学協議会2021年度報告書」の内容を踏まえ、2022年6月13日付けで改正されています。

この改正では、広義かつ曖昧になっていたインターンシップを再定義し、大学生等のキャリア形成支援に係る取組を4つに類型化しています。そうすることで、一定の基準を満たしたインターンシップで企業が得た学生情報を、広報活動や採用選考活動に使用できるよう見直しています。

就職・採用活動において、学生は売り手市場と言われていています。年々、就職・採用活動は早期化し、学生の争奪戦ともいえる状況のなかで、上述した三省合意型インターンシップの実施は、学生側と企業側の双方がマッチングを検討し、選択の妥当性を図るための機会となります。その実態を把握することは、本学のキャリアサポートの体制・内容の拡充を図るうえでも、不可欠な作業となります。

本報告書は、三省合意改正により提示された4類型に基づく、本学の2024年度のキャリア形成支援の実施状況に係る調査の結果をまとめています。また、学生が自主的に参加する就業体験等についても、調査結果をまとめました。ここで紹介する就業体験は、学生が自主的に企業等の公募に直接応募するという形を取るものです。そのため、把握できるのは大学が参加申込手続きに関与する等、大学が何らかの形で参加状況を把握しているものに限られます。

後者の調査については、三省合意改正で定義された「インターンシップ」には類型化されない従前の「インターンシップ」に基づきまとめられています。その理由は、2つあります。

第一の理由は、三省合意改正の「インターンシップ」の概念が現場ではまだ十分に定着しておらず、混在している状況があることにあります。本報告書では、就業体験が「インターンシップ」という名称で募集・応募が行われたものは、その形態に関わらず、そのように整理をしています。

第二の理由は、学生が就活をめぐるどのような大学生活を送っているのかについて、経年変化を捉えることにあります。三省合意改正によるインターンシップへの移行期における実態を捉えることで、今後の本学におけるキャリア支援の方策と「インターンシップ」の受付・募集のあり方を検討して参ります。

以上のように、本年度の報告書は、三省合意改正によるインターンシップに向けた過渡期にある本学の取組概要をまとめています。本報告書が、本学のキャリア教育の充実に向けた議論のきっかけになることと、就業体験・インターンシップにご協力くださる企業・自治体等の来年度の取組への検討に参考になることを期待しております。

なお、来年度の報告書は、本報告書の結果をもとに、キャリア形成支援に関する調査にするか、三省合意改正のインターンシップに特化したものにするのか、キャリアサポート室でも議論を重ね、より充実したものになりたいと思います。ご意見をお寄せくだされば幸いです。

最後になりましたが、学生を職場に受け入れてくださり、さまざまな報告書作成等にご協力いただきました、企業・自治体等のみなさまに心より感謝申し上げます。

また、主体的に就業体験に取り組み、その知見を本報告書に寄せてくれた学生のみなさまにもお礼申し上げます。みなさんの学びを後輩たちにつないで参ります。

2025年3月吉日

群馬大学キャリアサポート室長

結 城 恵

学生のキャリア形成支援活動 実施状況



学部名/ 研究科名	授業科目名	単 位 数	必 修 選 択	キャリア形成支援 活動の類型	実 施 形 式	国 内 ・ 海 外	合 計	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	専 攻 科 1 年	専 攻 科 2 年	修 士 1 年	修 士 2 年	博 士 1 年	博 士 2 年	博 士 3 年	専 門 職 1 年	専 門 職 2 年	専 門 職 3 年	別 科	留 学 生 （ 学 年 不 問 ）	そ の 他
共同教育学部	教育実践 インターンシップA	1	選択	タイプ2 (就業体験なし)	実地のみ	海外	-																			
共同教育学部	教育実践 インターンシップB	1	選択	タイプ2 (就業体験なし)	実地のみ	国内	-																			
共同教育学部	教育実践 インターンシップC	1	選択	タイプ2 (就業体験なし)	実地のみ	海外	1				1															
共同教育学部	教育実践 インターンシップC	1	選択	タイプ2 (就業体験なし)	実地のみ	海外	2				2															
情報学部	仕事の現場を知るA	2	選択	タイプ2 (就業体験なし)	実地のみ	国内	13		11	1	1															
情報学部	仕事の現場を知るB	2	選択	タイプ2 (就業体験なし)	実地のみ	国内	12		3	8	1															
情報学部	仕事の現場を知るC	2	選択	タイプ2 (就業体験なし)	実地のみ	国内	32		29	3																
情報学部	社会に学ぶ	2	選択	タイプ2 (就業体験あり)	実地のみ	国内	1			1																
情報学部	地域協働論	2	選択	タイプ2 (就業体験なし)	実地のみ	国内	5		3	1	1															
情報学部	融合型PBL1	2	必修	タイプ2 (就業体験なし)	実地のみ	国内	161			158	3															
情報学部	融合型PBL2	2	必修	タイプ2 (就業体験なし)	実地のみ	国内	158			155	3															
理工学部	インターンシップII	1	選択 ・ 必修	タイプ3	実地のみ	国内	4			3															1	
理工学部	安全工学・技術者倫理	2	必修	タイプ2 (就業体験なし)	実地のみ	国内	485		470	15																
理工学部	正課外			タイプ3	実地のみ	国内	53			52	1															
理工学部	正課外			タイプ3	オンライ ンのみ	国内				2																
情報学研究科	先端応用情報学特講F	1	選択	タイプ2 (就業体験なし)	実地のみ	国内	-																			
情報学研究科	先端応用情報学特講G	1	選択	タイプ2 (就業体験なし)	実地のみ	国内	2									2										
情報学研究科	先端応用情報学特講H	1	選択	タイプ4	実地のみ	国内	1									1										
情報学研究科	先端応用情報学特講I	1	選択	タイプ4	実地のみ	国内	1									1										
情報学研究科	先端応用情報学特講J	1	選択	タイプ2 (就業体験なし)	実地のみ	国内	-																			
情報学研究科	先端応用情報学特講E	1	選択	タイプ2 (就業体験なし)	実地のみ	国内	4										4									
情報学研究科	先端応用情報学特講F	1	選択	タイプ2 (就業体験なし)	実地のみ	国内	4									2	2									
情報学研究科	先端応用情報学特講G	1	選択	タイプ2 (就業体験なし)	実地のみ	国内	8									2	6									
情報学研究科	先端応用情報学特講H	1	選択	タイプ4	実地のみ	国内	7									2	5									
情報学研究科	先端応用情報学特講I	1	選択	タイプ4	実地のみ	国内	7									2	5									
情報学研究科	先端応用情報学特講J	1	選択	タイプ2 (就業体験なし)	実地のみ	国内	-																			
大学院理工学部	インターンシップ	1	選択	タイプ3	実地のみ	国内	3									2									1	
大学院理工学部	インターンシップ	1	選択	タイプ3	実地とオン ライン の併用	国内	-																			

学生のキャリア形成支援活動 実施状況

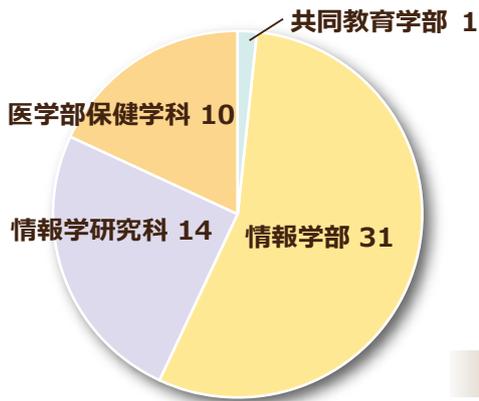


学部名/ 研究科名	授業科目名	単 位 数	必 修 選 択	キャリア形成支援 活動の類型	実 施 形 式	国 内 ・ 海 外	合 計	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	専 攻 科 1 年	専 攻 科 2 年	修 士 1 年	修 士 2 年	博 士 1 年	博 士 2 年	博 士 3 年	専 門 職 1 年	専 門 職 2 年	専 門 職 3 年	別 科	留 学 生 (<small>学年不問</small>)	そ の 他
大学院理工学部	正課外			タイプ2 (就業体験あり)	実地のみ	国内	-																			
大学院理工学部	正課外			タイプ3	実地のみ	国内	46									46										
大学院理工学部	正課外			タイプ3	オンラインのみ	国内	1																		1	
大学院理工学部	正課外			タイプ3	実地とオンラインの併用	国内	1									1										
全学共通 (理工対象)	キャリア計画	2	必修	タイプ2 (就業体験なし)	実地のみ	国内	526	489	36	1																
全学共通 (理工対象)	キャリア設計	2	選択	タイプ2 (就業体験なし)	実地のみ	国内	9	9																		
全学共通	グローバル 地域創生と企業	2	選択	タイプ2 (就業体験なし)	実地のみ	国内	1			1																
全学共通	日本人学生のためのビ ジネス日本語～就職活動 への日本語対応力を高め るために～	1	選択	タイプ2 (就業体験なし)	実地のみ	国内	3		1	2																
全学共通	ビジネス・コミュニケー ション～就職活動・就職 後のコミュニケーション 力を高めるために	1	選択	タイプ2 (就業体験なし)	実地のみ	国内	1																		1	
全学共通	グローバル・インターン シップ・プログラムⅠ	2	選択	タイプ2 (就業体験あり)	実地のみ	国内	-																			
全学共通	グローバル・インターン シップ・プログラムⅡ	2	選択	タイプ2 (就業体験あり)	実地のみ	国内	-																			
全学共通	グローバル・インターン シップ・プログラムⅠ	2	選択	タイプ3	実地のみ	国内	3		2	1																
全学共通	グローバル・インターン シップ・プログラムⅡ	2	選択	タイプ3	実地のみ	国内	3		2	1																
全学共通	グローバル・インターン シップ・プログラムⅢ	2	選択	タイプ3	実地のみ	国内	1			1																
全学共通	グローバル・インターン シップ・プログラムⅣ	2	選択	タイプ3	実地のみ	国内	1			1																
全学共通	日本事情D： グローバル地域創生と企 業	2	選択	タイプ2 (就業体験なし)	実地のみ	国内	1				1															
全学共通	日本事情G： グローバル・インターン シップ・プログラムⅢ	2	選択	タイプ3	実地のみ	国内	-																			
全学共通	日本事情H： グローバル・インターン シップ・プログラムⅣ	2	選択	タイプ3	実地のみ	国内	-																			
全学共通	日本事情I： グローバル・インターン シップ・プログラムⅤ	2	選択	タイプ3	実地のみ	国内	1				1															
全学共通	日本事情J： グローバル・インターン シップ・プログラムⅥ	2	選択	タイプ3	実地のみ	国内	1				1															
全学共通	海外短期研修③ (ハートラム国際インター ンシップ)	1	選択	タイプ2 (就業体験あり)	実地のみ	海外	5		3	2																
全学共通	正課外 (GHKGイン ターンシップ)			タイプ4	実地のみ	国内	1												1							
全学共通	正課外 (GHKGイン ターンシップ)			タイプ3	実地のみ	国内	1												1							
全学共通	正課外			タイプ2 (就業体験あり)	実地のみ	国内	53		1	36	5					11										
全学共通	正課外			タイプ2 (就業体験あり)	オンラインのみ	国内	3									3										

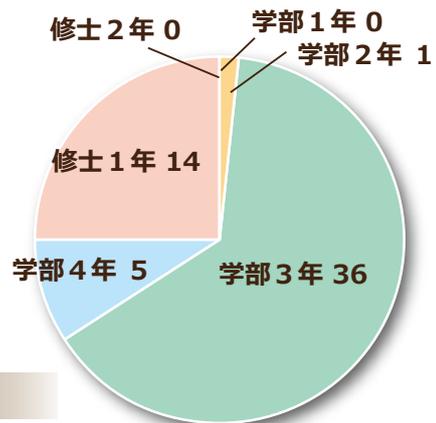


共同教育学部・情報学部・情報学研究科・医学部保健学科

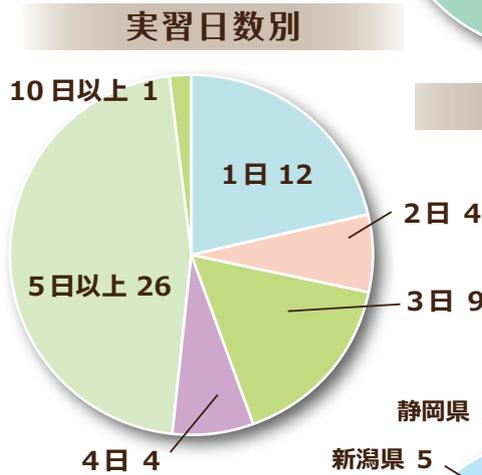
参加者 56名



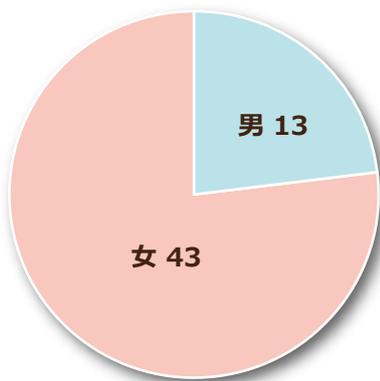
学部別



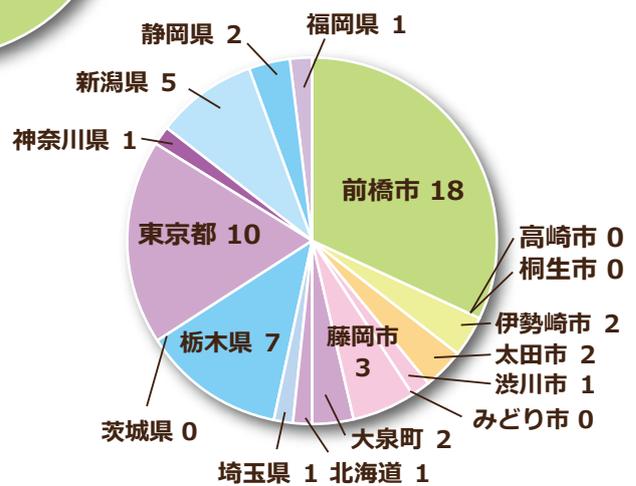
学年別



実習先地域別



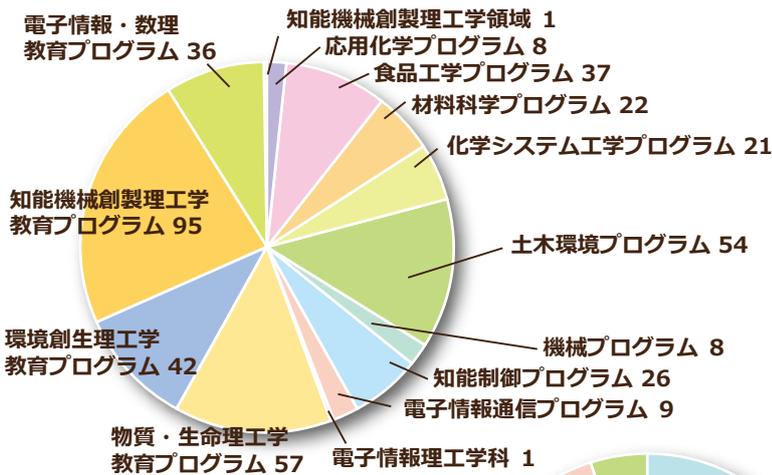
男女別



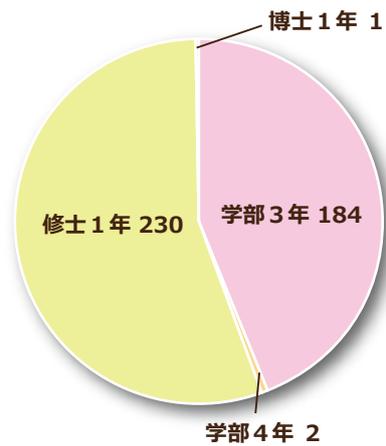
(WEB 3件は、本社所在地に区分)

理工学部・理工学府

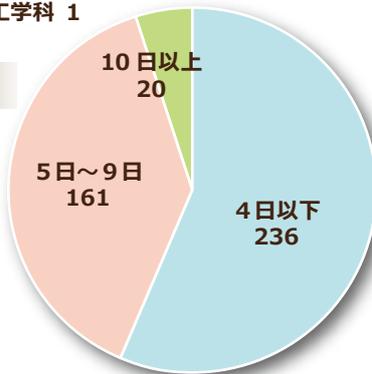
参加者 **417名**



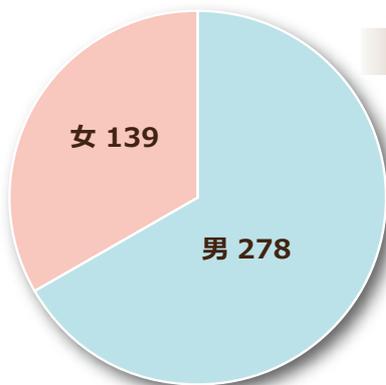
学科・専攻別



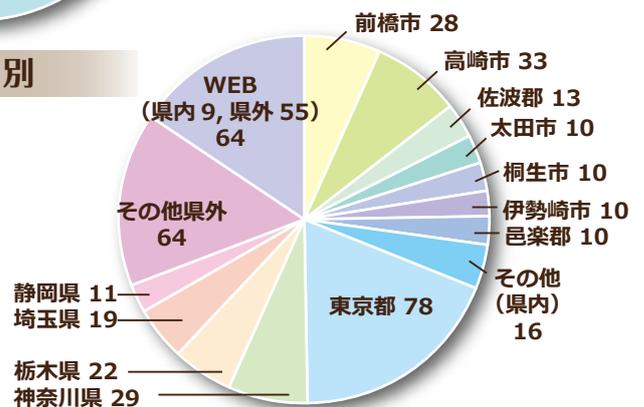
学年別



実習日数別



男女別



実習先地域別

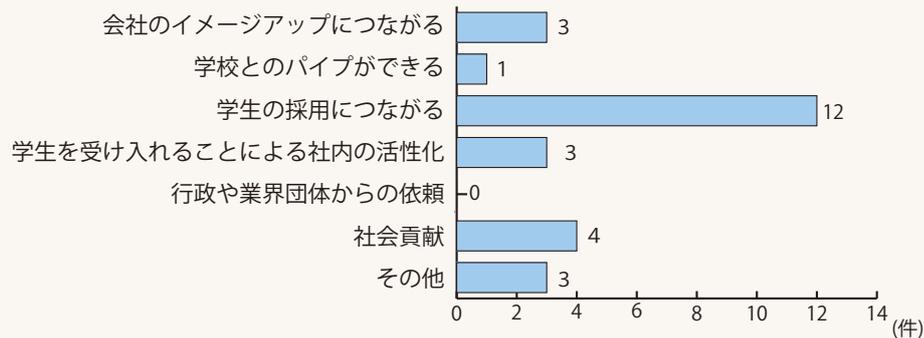
受入実習先アンケート結果



大学経由でインターンシップに申込・依頼をした企業・法人・官公庁にアンケートを実施し、16社・機関から回答を得ました。

共同教育学部・情報学部・情報学研究科・医学部保健学科

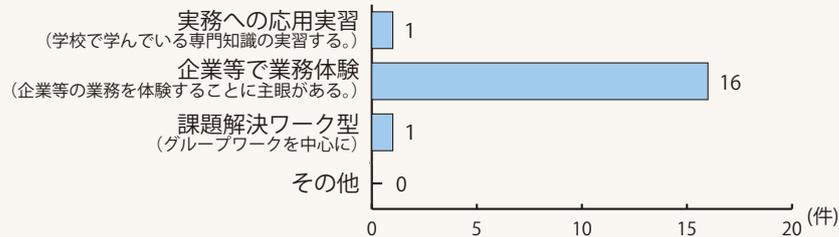
問1 今回のインターンシップを実施した理由をお伺いします。(複数回答可)



その他

・職業意識の向上や県政及び農業行政に関する理解の促進、業務内容を正しく言語化してお伝えする、等

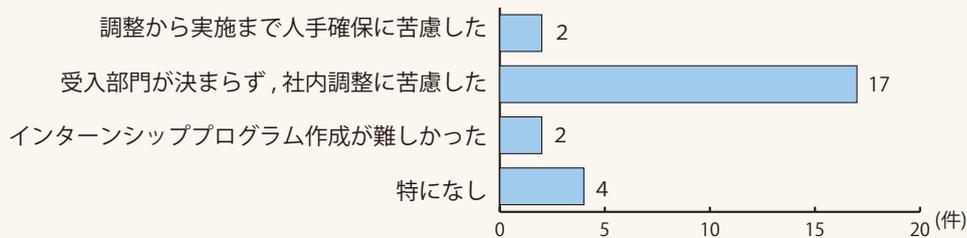
問2 実施したインターンシップはどのような内容・類型でしたか。(複数回答可)



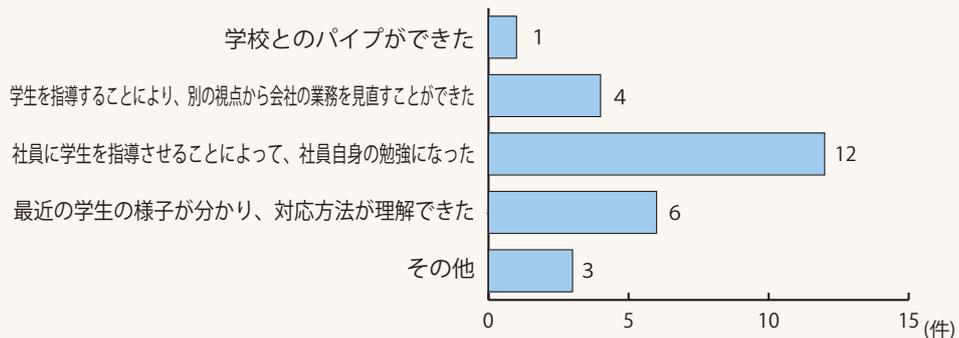
その他

・業務説明、現場視察、若手職員との意見交換

問3 実施に当たって、苦労したことは何ですか。(複数回答可)



問4 今回、インターンシップを実施して良かったことは何ですか。(複数回答可)

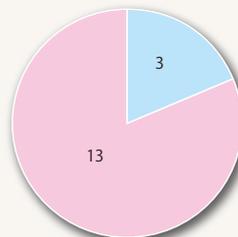


その他

・学生に将来の就職先として考えてもらう良い機会となった。

問5 今後のインターンシップについて、どのようにお考えですか。

- 拡大していきたい
- 現状を維持したい
- 縮小したい
- 条件によっては実施したい
- 中止したい



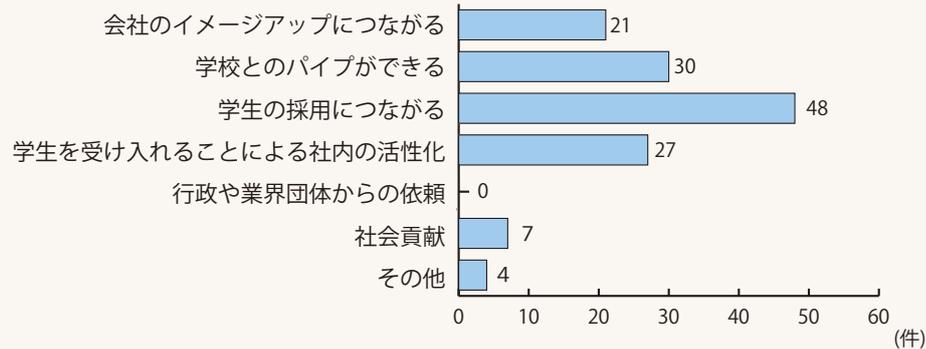
受入実習先アンケート結果



5日間以上のインターンシップ受け入れ企業・法人・官公庁にアンケートを実施し、51社・機関から回答を得ました。

理工学部・理工学府

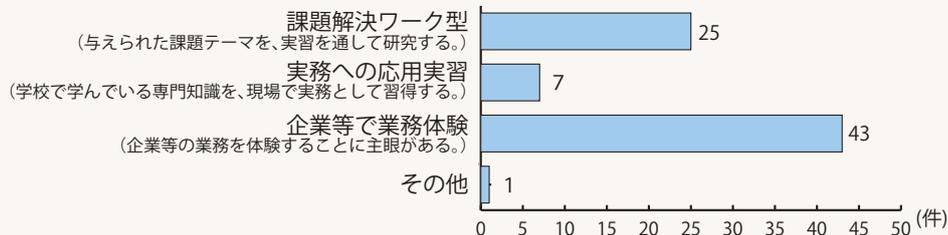
問1 今回のインターンシップを実施した理由をお伺いします。(複数回答可)



その他

- 通信建設業の実業務を伝える良い機会と考えております
- 医療機器の研究開発の魅力を体感いただくため
- 学生のニーズを把握するため
- 学生、企業お互いにマッチングをはかり、よりよい就活、採用につなげるため

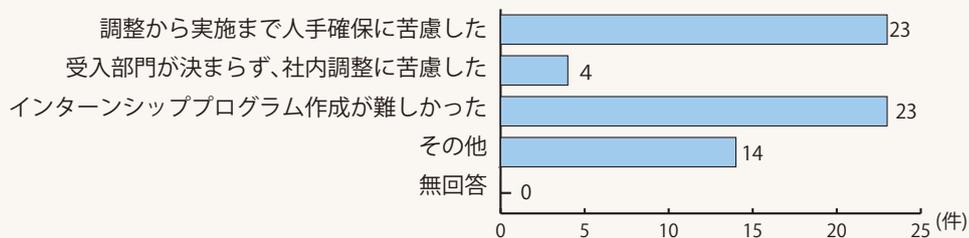
問2 実施したインターンシップはどのような内容・類型でしたか。(複数回答可)



その他

- 職種体験 (志望職種を主体的に実践的に体験学習すること)

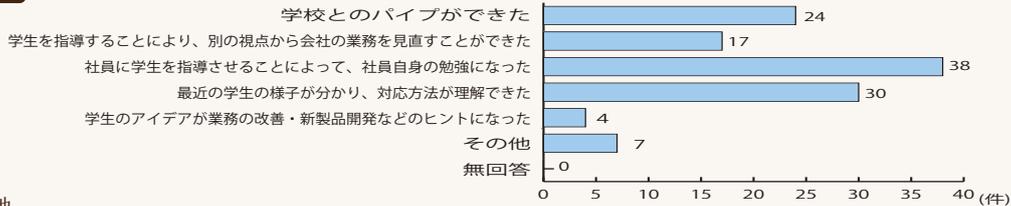
問3 実施に当たって、苦労したことは何ですか。(複数回答可)



その他

- インターンシップの担当になる社員の負担軽減と参加者が楽しめるようにすること
- 業務内容が社外秘ばかりで、簡単に立入りできないエリアが多く、開催できるのが不安だった
- 学生にとって有意義なカリキュラムを検討することに苦慮した
- 参加学生の集客
- 業務とインターンシップ対応の両立に苦慮した
- 学生を受け入れるにあたって支給する費用の検討 (他社と同じ待遇にすること)
- 理系の女子学生が少なく将来の女性社員の確保が難しい
- インターンシップの役割を果たしながら、学生の採用につながるための運営・企画・構成が難しい
- ターゲット層 (制御工学を学ぶ学生) へのPR、参加者の募集

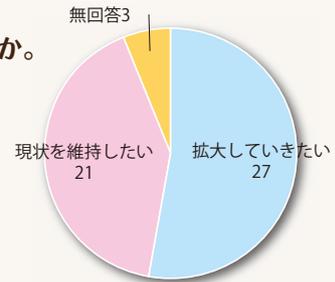
問4 今回、インターンシップを実施して良かったことは何ですか。(複数回答可)



その他

- ・推進する産官学連携事業の活性化に繋がる具体的アクションとなった
- ・学校とのパイプが出来たと捉えてよろしいのでしょうか？
- ・通信建設に興味のある学生がいれば是非
- ・弊社の業務や社内の雰囲気などを学生さんに知っていただく機会になった
- ・潜在能力の高い学生・マッチング度の高い学生に出会うことができた
- ・当社を第一希望としている方が複数名いたこと
- ・有望な学生様とのつながりができた
- ・学生に現場を体感・理解していただけた点

問5 今後のインターンシップについて、どのようにお考えですか。



問6 今回のインターンシップのインターンシップについてのご意見・ご感想、または群馬大学についてご意見・ご要望がございましたらご記入ください。

- 礼儀が非常に正しく、コミュニケーションも取りやすく、弊社としてもやりやすく感じました。実際に機械を操作した際は、操作経験が無いものの、飲み込みが早く非常に覚えも良かったです。インターンシップをきっかけに選考に臨んでいただければ幸いです。
- 地元、群馬大学の学生がなかなか当社に来ていただけておりません。是非、インターンシップを通じて、当社に来ていただければと思います。
- 当社の業種は「通信建設業」ですが、大分類は「建設業」になります。そのため、留学生在が就職する場合は「特定技能1号」の「ライフライン設備区分」または「土庫区分」の資格が必要となります。この資格は、①技能評価試験（「技能検定3級」又は「建設分野特定技能1号評価試験」）と②日本語試験（「国際交流基金日本語基礎テスト」又は「日本語能力試験(N4以上)」）の、①と②の両方に合格しなければ取得できないことを、全体説明の際にしております。参加学生に対して留学生在であることなどの確認は一切していません。
- インターンシップ生の住まいと受け入れ先（埼玉県日高市）が離れているにも関わらず、1週間休もことなく積極的に参加してくださいました。ただし、ホテルを取るなどに対応していたので、インターン生の金銭的な負担が大きかったと思いますので、出来れば通える範囲にしてあげたいと思います。当社へ是非入社したいという希望を率直に伝えてくれましたので、受け入れたら大変です。
- 他の大学ではこのようなシート記入がなかったため、大学としてのフォローをする姿勢を感じました。
- 現在交通費の支給が「有」になっていると思いますが、「無」としていただけますようお願いいたします。尚、車でご来社いただくのは可能です。
- この度は、弊社夏季インターンシップにご参加いただき、誠にありがとうございました。学業がお忙しい中、2週間という長期間を弊社で過ごしていただきましたので、学生さんにとって実りのある体験となっていると嬉しく思います。今後もぜひ貴学の学生さんご縁がありまよう、インターンシップをはじめ様々なイベントを開催してまいりますので、引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。
- 良い学生をご紹介いただきありがとうございました。今後とも、良い学生の紹介をよろしくお願いいたします。
- 5日間インターンシップにご参加いただきありがとうございました。募集人数12人で5日間のインターンシップを開催するのは初めての試みであり、ご参加いただく学生の集客方法は今後、考慮していく必要があると感じました。
- 学生視点における考え方や意見交換ができ、有意義なインターンシップであったと思います。不明点や疑問点を積極的に質問いただき、当社の開発現場の雰囲気や少しでも理解いただけたら本望です。
- 今回、当社公募型インターンシップで貴学の学生さん1名をお受けいたしました。当社に興味を持っていただいた学生さんがいらっしゃいましたら、今後も積極的にお受けさせていただきたく存じます。引き続きよろしくお願いいたします。
- 私は2018年度に群馬大学理工学府数理情報教育プログラムを卒業しました。母校の後輩と一緒に仕事を進めることで弊社としても良い刺激となりました。今後ともよろしくお願いいたします。
- 参加いただいたお二人は実習中、非常に熱心に取り組んでおられました。この度は、インターンシップ開催に伴い学校内での周知や案内にご協力いただき誠にありがとうございました。来年度も是非実施できればと考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
- 研究室の指導教員様だけでなく、学生支援係からも学生をフォローいただいたことがわかり安心感が増しました。受け入れる側では、「もし怪我をさせてしまった際に何処へ相談しよう?」「秘密保持をどのように徹底してもらおう?」等々が技術部門からの懸念が上がったため、媒体での一般公募ではなく大学を通じた募集にしました。（恐らく参加学生様としても、トラブル発生時に大学に相談しやすい為、安心感を持っていただけたらと思います。）学生支援係が「学生のインターン参加を把握しフォローしていること」を企業/学生に周知いただけたこと、双方インターンのハードルが下がったのではないかと考えております。
- この度はインターンシップ受入の機会を賜り、誠に有難うございました。ご参加いただいた学生様の前向きで積極的な姿勢に、携わった社員にとって非常に良い機会となりました。今後とも学生様とのご縁がございました際には、ぜひ宜しくお願い申し上げます。
- 学生様と関わる機会がない中、学生様自身で弊社のインターンシップにご参加いただけただけことを感謝しております。
- インターンシップ期間5日間を通して、意欲的かつ積極的に取り組んでいただきました。弊社では今後インターンシップをさらに拡大していきたいと考えております。次年度以降もぜひ貴学よりインターンシップにご参加をいただいた学生がございましたら、嬉しく思います。引き続きよろしくお願いいたします。
- この度は当社インターンシップに貴校学生にご参加いただきありがとうございました。来年度においても同様に夏季開催予定となりますので、多くの学生の皆さんにご参加いただ

- ればと思います。また今後、貴校内にて会社紹介イベント等ございましたら情報いただければ幸いです。
- 今回、群馬大学の学生を複数受入りましたが評価書にある通り、受入職場からお世辞なしに優秀な学生達だったとの意見がございました。冬にも対面のインターンシップを予定しておりますので引き続きどうぞよろしくお願いいたします。
- 自分はインターンシップ生の職場配属後、アドバイザーとして指名をさせていただきです。インターンシップの実施過程や今後の展望は申し訳ございませんが確実なことは分かりかねます。（5は未回答にしてあります）貴大学からも過去に入社した先輩も多くおりますので、今後ともよろしくお願いたします。
- 改めて、今の若者の考えやニーズを知ることが出来、良いインターンとなりました。ご調整も含め、ご対応いただき誠にありがとうございました。
- この度は誠にありがとうございました。職場実習型インターンシップということで、受入数にどうしても限りがございますが、ぜひ継続していきたいと考えております。特に、群馬県、大泉地区の近隣校として、群馬大生に興味を持っていただきたいという職場の声を多く受けております。引き続き、連携させていただきたく何卒よろしくお願いいたします。台風の対応など、こちらの不手際で学生さんにご不便をおかけした点も少々あつたかと存じます。引き続きインターンシップ実習になっていきますと幸いです。
- 御校からは非常に多くのご応募をいただきました。立地も関係しているとは思いますが、様々なイベントにお声掛けいただき、学生へのPRができていたためと考えております。卒業生も多く活躍しておりますので、引き続き当社をよろしくお願いいたします。
- 改めて、優秀な学生を参加させていただきありがとうございました。国内では二輪は趣味性が高く、二輪のような特殊なモビリティの開発をやりたいと志す学生が少なく来ていて、我々は感じています。グローバルな視点で見ると、まだまだ世界中で二輪の需要は拡大しています。特にアジアや南米、アフリカなどの地域のお客様は二輪の機動性や手に入れやすい価格帯のため今後も電動化を含めて需要は増えて行くと考えています。2輪は人の役に立つモビリティとしてのポテンシャルは高いと思いますので、ものづくりが好きで、乗り物が好き、人の役に立つ仕事したい、と考える学生が増えることを期待しています。今後とも何卒よろしくお願いいたします。
- この度は弊社のインターンシップにご参加いただきまして、誠にありがとうございました。オンラインではございましたが、首藤様の様子を通して、貴校が日頃から学生様へきめ細やかなご指導をなさっていること、そして学生の方もその期待に応えていらっしゃるのを感じました。貴校の学生様へ来年度も弊社のインターンシップに興味をお持ちいただけるよう尽力いたしますので、ぜひともご参加いただきたく、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。重ねて御礼申し上げます。
- 実際の職場の雰囲気や体験してもらうことで、学生たちが就職に対する具体的なイメージを持つことができる最適なプログラムであると感じております。インターンシップにおいて与えられた課題に真摯に取り組む学生たちの姿勢は、我々にとっても大変良い刺激となりました。
- 今回ご参加いただいた学生様は当社2weekインターンシップに4月からエントリーして下さっていました。評価表にもある通り、周囲に対してとても積極的にコミュニケーションをとり、学習意欲も高い学生様でした。よいご縁ができたので、この機会にぜひ貴学様ともご縁ができれば幸いです。対面での学内合同説明会や個別企業説明会がございましたら、ぜひ参加させていただければ幸いです。対面での学内合同説明会や個別企業説明会の実施はごいいますでしょうか。
- 当社軽井沢本社工場では、年間を通して学生にアピールできるよう工場見学やインターンシップ、学内説明会等に参加させていたしております。もし少しでも興味がある方がいるようでしたら、何卒よろしくお願申し上げます。
- 以前、新潟県にいたとき群馬大学出身の社員もエリア採用で土木設備技術センターにいました。とても優秀な先輩、上司で尊敬できる方々でしたので群馬大学には良い印象があります。
- 弊社には現在、貴学OB06が17名在籍しております。今後も貴学の優秀な学生の方に弊社への関心を持っていただき、多くの接点を作りたいと考えております。工学系の学生を対象としたインターンシップは今年度が初めての開催でしたが、来年度以降も継続して開催していきたいと考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。
- 大学を通じて参加した学生は、大学でどのようなことを学習しているか等の情報を得ていたが、サイトを通じて参加した学生は、学部までわかっています、どのような分野の学習をしているか等を知り得る必要があったと感じました。
- この度は、多くの学生さんにご参加いただき、とてもありがたく思っております。当社は機械系の採用を積極的に行っておりますので、今後ともよい学生様とのご縁が広がりますよう引き続きよろしくお願い致します。
- 御参加いただいた学生さんにはいずれも積極的取り組んでいただけ、相互理解のよい機会になったと感じています。インターンシップの取組は今後拡大していきたいと考えているため引き続きよろしくお願い致します。また採用活動については、当社を始め、グループ企業においても各社取り組んでいますので、こちらについてもご配慮いただければ幸いです。

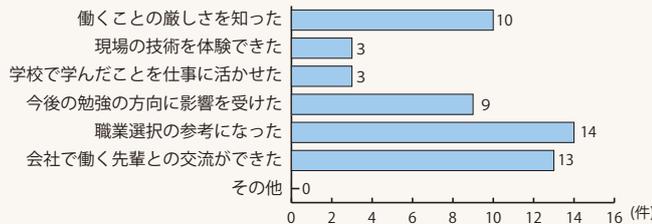
学生アンケート結果



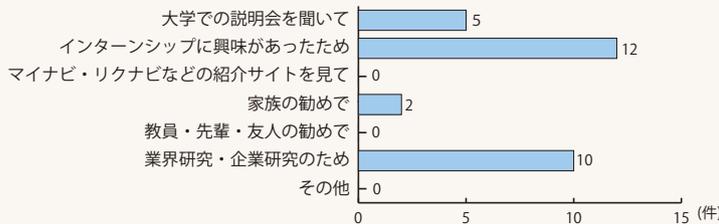
対面式インターンシップに参加した学生を中心にアンケートを実施し、4名から回答を得ました。

共同教育学部・情報学部・情報学研究科・医学部保健学科

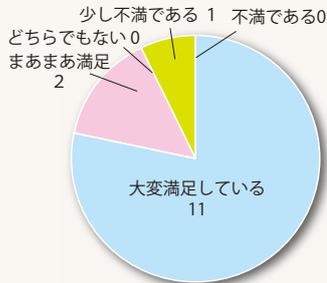
問1 インターンシップに参加して得られた成果は何ですか。(複数回答可)



問2 インターンシップに参加したきっかけは何ですか。(複数回答可)



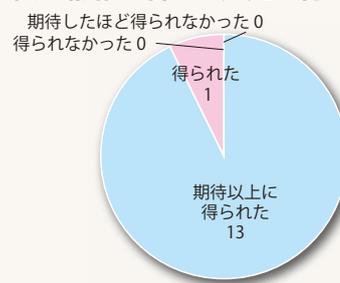
問3 インターンシップでの体験内容について、満足度を教えてください。



大変満足している理由：

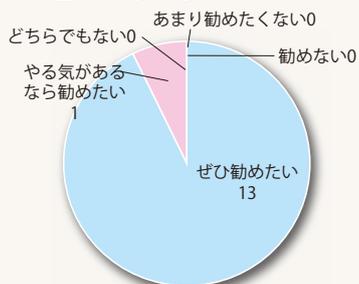
- ・実習を行った5日間ともすべて充実した時間を過ごしたから。
- ・参加しなければ見えない裏側を体験できたから。
- ・実際に行っている業務の体験や、現場での学習など、貴重な体験をさせてただけで、団地課の業務や県職員としてのやりがいを深く理解することができたから。
- ・忙しい中、私たちのためにスケジュールを組んでくださった。また、職員の方々と座談会の場を多く作って下さり、色々な話が出来た。
- ・ホームページには細かな仕事内容や採用情報などが掲載されていなかったため、実際に本社へ行ってそのような情報を得られたり、同じ学部の卒業生から事業内容についても説明をしていただき、その企業や業界への理解が深められたりしたから。
- ・事前に用意していたたくさんの質問の一つひとつ丁寧に答えをいただいただけでなく、実際に働いてみての感想や大変なこと、やりがいなど、貴重なお話を伺うことができたため。また、仕事内容が想像以上に幅広いことが分かり、大学生のうちから努力して身に付けておきたい力も把握することができたため。
- ・観光課という文字面だけでは想像できないような実際の多様な業務内容を知ることができ、充実した5日間を過ごせたから。
- ・公務員の実際の業務について体験することができ、公務員は規則や条例を基に仕事をする人が多いということが分かったから。そのため大学で学んだ法律の条文の読み方を再度復習したり、さらに勉強したりする必要があると分かったから。また、実際に職員の方が「仕事をされている中で実習をさせてもらい、課の雰囲気や皆さんの働く姿、職員同士のやり取りや相談、電話対応など、直接感じられること、学んだことがたくさんあったから。

問4 今回の体験は今後の就職活動に役立つ知識・情報や新たな発見が得られましたか。



- ・自分は公務員になりたいものの、不安要素として部署異動があり、その不安を解消するためにも実習先として複数の課で体験できる受入先を選んだ。実際5日間を通して、毎日異なる課で実習をさせてもらい、業務について学んだり職員の方からこれまでの経験を伺ったりしたことで、部署異動について捉え直すことができたから。また、職員の方とお話できる機会をたくさん設けていただき、尊敬できる考えを持つ方とも出会い、自分にとって学びの多い5日間であったため。
 - ・課の業務について、実際に現場に同行させてもらい、貴重な体験をたくさんさせてもらったため。また、全ての係の業務に携わったり、職員の方とお話できたりして業務への理解が深まったから。そして、課の業務や実習機関の施策などについての意見交換や課題発表会を行ったことで、以前と比べて成長した点や自分の今後の課題が分かり、自分自身についても見つけ直す機会になったから。
 - ・実習でイベントに参加させてもらいイベントを通してたくさんことを学び、自分自身に必要な力も分かり、有意義な実習であったから。
- まあまあ満足している理由：
- ・図書館での業務を実際に行えて楽しかった。
 - ・規則の対照表の作成を体験し、様々な決まりのもとで作られていることが分かったのと、実際に働いた時のイメージが掴めたため。また、その作業後に全体で解説をいただける時間があまりなかったので、そのような時間を設けていただきたかったため。
- 少し不満である：
- ・台風が来ていた影響で、当初予定されていた現場研修ができなかったが、職員の方々が代わりにプランを用意してくださったため、非常に有意義な経験を得ることができた。

問6 後輩にもインターンシップへの参加を勧めたいと思いますか。



問7 インターンシップを実施するに当たっての問題点があれば指摘してください。

特に回答なし

問8 今回のインターンシップについての意見・感想、今後のインターンシップについての要望・提案があれば記入してください。

- 実習先から「何を学びたいか」を考えておくように言われていたので、農業のことについて調べ、用意していたつもりであったが、もう少し知識が必要だったと感じた。足りなかった知識については、今後学習をしていきたい。
- 元々、広告や印刷業界に対する自分の中でのイメージがありましたが、社員の方々の雰囲気、人柄を実際に感じる事ができて、イメージを少し変えることもできたので、大変有意義な時間になった。
- 今回、インターンシップは開催しておらず、説明会などの情報もホームページに載っていませんでしたが、そこで諦めてしまうのではなく自分から担当者の方に連絡を取ったことで実際にお話を伺ったり、働く様子を見学したりする機会をいただけたので、勇気を出して行動を起こすことが大切だと感じた。
- 実習先にお送りいただく実習評価票が非常に役に立っているので、是非今後も続けていってほしいと思う。自分の行動の改善点が分かったので、非常に参考になった。
- インターンシップの実習内容や実施形式として、実習機関全体の仕組みや取り組みについて学ぶ講座があったことで、実習機関全体とインターンシップで実際に体験をした部署や実習先それぞれでの大切にすべき視点が分かり、非常に有意義な機会であったと感じた。また、各部署での取り組みが機関全体の計画や方針の中のどこに位置付けられているかなど、関係性を掴むことが出来たので非常に嬉しく思った。
- インターンシップの受入決定後に、受入機関の担当の方が学生とキャリアサポート室の方双方に実習に関する連絡をしてくださっている場合に、受入機関の担当の方から学生に連絡があったり、なかったりした場合に学生とキャリアサポート室の方どちらか一方のみに共有をしてくださっているのか、双方に連絡をしてくださっているのか分からない時があり、戸惑った。しかし、キャリアサポート室の方に疑問点を聞くことで対応できたので良かった。また、今後も受入機関や担当者によってその点は異なると思うので、その都度キャリアサポート室の方と受入機関の担当の方と連携していく必要があると感じた。
- 職員の方のこれまでのご経験や事務局の方からもお話を伺うことができ、定期的な部署異動があるためその都度自分で必要だと思う勉強を自主的にされていたり、業務において関わる企業の方を大切に思い、日常生活でも情報収集を積極的にされていたりして、自分もそのような意識を持ち実際に行動出来る社会人を目指したいと思い、インターンシップに参加して良かったと感じた。

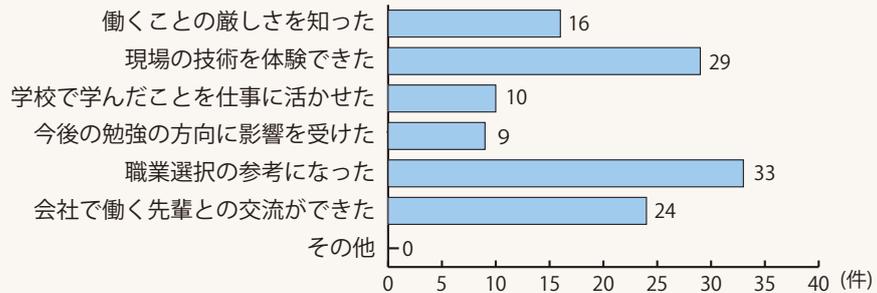
学生アンケート結果



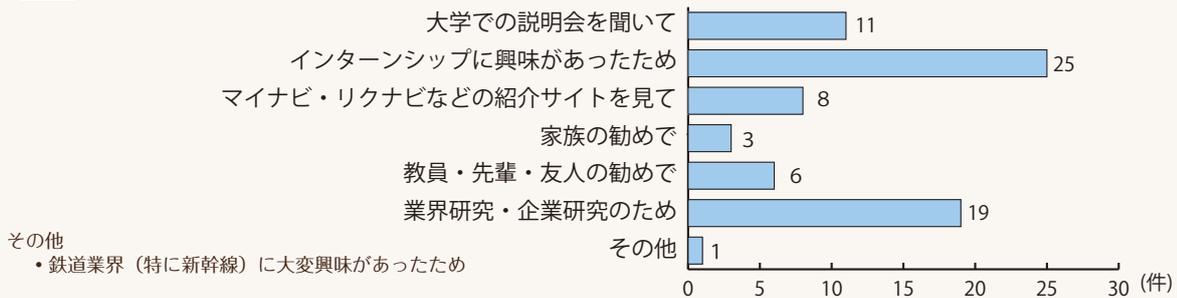
5日間以上のインターンシップに参加した学生にアンケートを実施し、35名から回答を得ました。

理工学部・理工学府

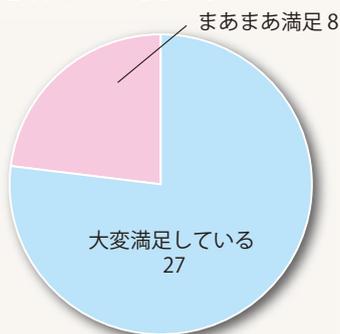
問1 インターンシップに参加して得られた成果は何ですか。(複数回答可)



問2 インターンシップに参加したきっかけは何ですか。(複数回答可)

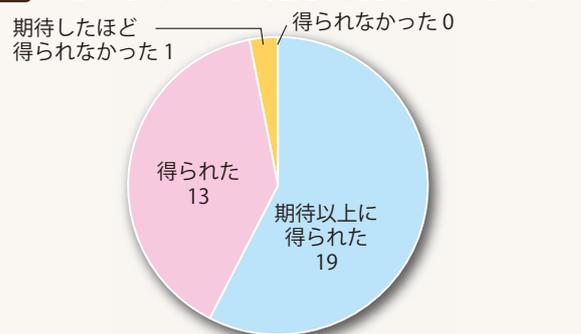


問3 インターンシップでの体験内容について、満足度を教えてください。



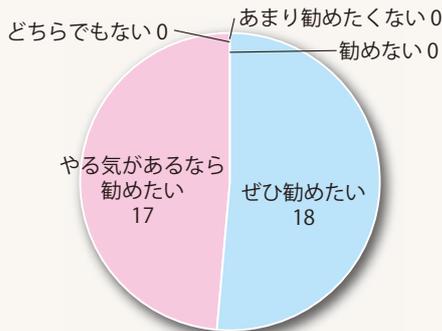
大変満足している理由：
 ・エンジンシミュレーションHINOCAを動かせるようになったため
 ・自主応募で行った企業とは理解度が圧倒的に違うから
 ・建設機械業界とこの会社への理解を深めることができたから
 ・多くの部署を見学させていただき、職種選びのために参考になったからです。
 ・ソフトウェア開発の一連のプロセスを経験することができ、SEとして成長するための糧となった
 ・まず、実際の職場の雰囲気や環境を直接感じ取ることができた点が非常に貴重な経験となりました。
 会社説明だけでは得られない、現場での実際の業務や働く環境を体感することで、入社後の仕事内容についても具体的なイメージをすることができました。
 さらに、実験器具に関する詳細な説明を頂き、大学の授業では学べない新たな知識や技術に触れることができたことも、大変有意義な体験でした。
 ・研究開発本部にあるそれぞれの部署で就業体験ができたから。また社員の方と話す機会が多く、気になっていたことを質問できたから。
 ・充実した実習内容で、開発の業務内容や会社の雰囲気について十分理解できたため
 ・結構グループワークをしてコミュニケーション能力向上できました

問4 今回の体験は今後の就職活動に役立つ知識・情報や新たな発見が得られましたか。

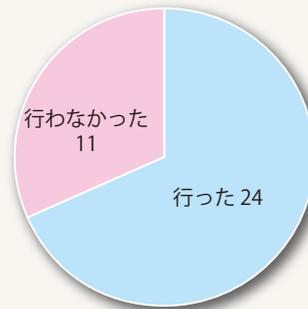


期待したほど得られなかった理由：
 ・X線装置などの使ったことない装置の仕組みを理解できた
 ・色々な事業本部の仕事内容を学びました
 ・研究開発の業務を実際に体験できた
 ・普段見ることができないものを見ることができた
 ・学校での研究内容が活きるテーマであったため、とても興味深い話など聞くことができたから
 ・自分の得意なことが見つかったため
 ・現場を見る機会が多く、非常に有意義な経験をすることができたため
 ・機械系の技術者として働くことのイメージを明確にできたから
 ・営業の仕事について知ることができたためテーマを選んだが少しイメージと違うと感じたから
 ・分からないことがない状態で終わられたから
 ・職場の雰囲気やその仕事の具体的な内容、やりがいを実際に感じる事が出来たため
 ・自分の業務内容だけでなく他の人が経験したことについても共有があり、県庁の業務内容について理解が深まったため
 まあまあ満足理由：
 ・普段見れない作業風景などを見ることができた

問5 後輩にもインターンシップへの参加を勧めたいと思いますか。



問6 実習先で成果発表を行いましたか。



問7 インターンシップを実施するに当たっての問題点があれば指摘してください。

- 先方の交通費の書き方がわかりにくい。毎日交通費が出るようにとらえられる文章だが、実際には初日の行きのみと帰りの分しか出ない。
- 社員の皆様による丁寧で分かりやすいご説明は、私にとって非常に有益であり、今後の大学生活における学びに大いに役立つものでした。そのため、特筆すべき問題点はありませんでした。
- 基本的に作業服を着て取り組むが、作業服は少し大きめのサイズなため、マイページでサイズを申請する際には小さめのサイズを申請しておくとう安心。
- 単位取得条件がわかりにくい

問8 今回のインターンシップについての意見・感想、今後のインターンシップについての要望・提案があれば記入してください。

- 参加前は業務内容について具体的なイメージがつかめなかったが参加後は、就職後のイメージがよかった。
- 今回のインターンシップでは、大変貴重な経験をさせて頂き、充実した時間を過ごすことができました。現時点で特に追加の要望や提案はありませんが、今後も引き続きこのような素晴らしいプログラムを継続していただければ幸いです。改めて、貴重な機会を提供して下さったことに深く感謝申し上げます。
- 開発に対する楽しさや業務内容について理解でき、10日間で多くのことを学ぶことができました。実習以外にも、たくさんの社員の方々と交流の場を設けて下さったため、会社の雰囲気を感じる事ができました。また、自分に不足している点にも気づく事ができたため、今後の勉強やキャリアパスの参考になりました。
- 内容はかなり充実しているが、代わりに残業時間帯までインターンシップを実施する。この会社を強く志望する人にとっては有意義だが、志望度が低い人にとっては辛いかもしれない。
- 今回のインターンシップはおもしろくて、たくさん勉強しました。要望・提案がないと思っています。
- 親戚が働いている会社ということもあり、家族からすすめられてインターンシップに参加したが、実際に働いてみないと分からないことも多くあり、それらを学ぶきっかけになった。
- インターンシップに参加するために行われるES選考やWEB面談などの対策（実際に対面で想定される質疑応答など）をもう少しやるべきだと感じました。
- グループワークを通して、自分の得意なことを見つけ出すことができ、班員のいいところを吸収できた。また、食品メーカーの全体的な仕事内容を理解することができ、今後の就職活動に対し、プラスとなった。
- 実際に部署に配置され、業務の一部をやらせてもらえるかなり実務に近いインターンシップで、充実度も高かった。部署の社員の方々もよく気にかけて下さり、職場の雰囲気を知ることができたのも良かった。
- 実際に製品を触って見たかったので品証の部署を選んだが、設計の部署の方や他部署の大学OBの方に繋いでもらったりと、かなり融通を利かせていただいた。学生の人数も少なく手厚く対応いただき、いろいろお話を伺えたのが良かった。
- 日ごとに開発・生技・品証と、主な技術系部署を見て回ることができ、各仕事のイメージを掴むことができた。また、実物のトンネルドリルジャンボはかなりインパクトが強く、操縦体験ができたのが良かった。
- インターンシップに参加するまでは実習先がどのような業務をしているのか分からなかったが、実際にインターンシップ参加することで県庁舎内外へ幅広く関わる仕事をしていることを知り、興味深い仕事だと感じた。

インターンシップ 事前研修会・成果報告会



全学共通講座

就職活動【基礎】セミナー

開催日時	対象	開催方法
4月15日(月)～ 6月28日(金)	インターンシップ参加希望学生	オンライン 動画配信

荒牧キャンパス

事前説明会

開催日時	対象	開催方法
4月22日(月) 16:00～17:00	インターンシップ参加希望学生 99名	対面 10号館224教室

事前講座

開催日時	対象	開催方法
7月23日(火)～ 9月30日(月)	インターンシップ参加予定学生	オンライン

桐生キャンパス

事前説明会

開催日時	対象	開催方法
4月5日(金) 12:30～、14:20～、16:10～	インターンシップ参加希望学生 538名	対面

事前講座

開催日時	対象	開催方法
7月10日(水) 16:00～	インターンシップ参加予定学生 15名	対面

成果報告会

開催日時	対象	開催方法
11月29日(金) 17:35～18:40	知能機械創製理工学教育プログラム 3名 電子・機械類 4名 インターンシップI履修学生(学部2年生) 26名	対面



目次

- 18 群馬テレビ株式会社

- 19 群馬県庁 農政部

- 20 群馬県庁 企業局 団地課

- 21 伊勢崎市役所

- 22 足利市役所教育委員会事務局市立図書館

- 23 レオン自動機株式会社

- 24 群馬県庁 総務部 財産有効活用課

- 25 前橋市役所

- 26 パナソニック株式会社空質空調社

- 27 日置電機株式会社

- 28 ミネベアミツミ株式会社

- 29 株式会社小松製作所

- 30 株式会社キンセイ産業

■インターンシップへの参加目的

テレビ局での仕事内容を学び、実際に体験し、記者という仕事が自分に合った仕事であるかどうか確認するため。また、新聞など他のメディア媒体でのインターンシップ経験と比較し、自分がやりたい報道の仕方を考え、今後の就職活動に活かすため。

■実習企業・機関選定理由

地方のメディアによる報道に興味があったため、大学所在地の群馬県にある独立局である群馬テレビでのインターンシップを希望した。普段群馬テレビ報道部でアルバイトをしているが、普段のアルバイトでは知ることのできないテレビ局の仕事について知りたいと思った。

■得られた成果

テレビという媒体ならではの取材方法や原稿の執筆方法を学ぶことができた。また、報道記者以外のテレビ局の仕事を知ることができた。特に、編成部での仕事内容について詳しく知る機会がなかったが、番組編成・番組の管理だけでなく、番組内容の考査や広報、番組審議会の開催など、思っていた以上に幅広い内容の業務を行っていたことに驚いた。

■実習を通じて感じたこと

テレビの取材の方法は自分に合ったものであると感じた。一方で、映像に合わせて原稿を書くことの難しさも感じた。また、自分が視聴者に情報を伝えるには、自分自身がその取材対象のことを深く知り、持っている知識から様々な角度からの質問をすることが重要であると感じた。多くの知識をつけることで、取材相手とも深い話をすることができ、視聴者が求める情報を引き出すことができると思う。取材相手に安心して話してもらうためにも、コミュニケーション能力は記者に欠かせないものであると思う。報道部以外の仕事も体験したことで、テレビ局は様々な仕事をする人たちが成り立っていることを改めて理解できた。さらに、仕事内容に対してだけでなく、毎日フルタイムで働くことの大変さを身をもって体感した。

■後輩へのアドバイス

せっかくの貴重な体験ができる機会のため、自分がやりたい・体験したいと思うことを事前に担当の方に伝えておくと良いと思います。自分自身が熱意を持って真剣に取り組んでいれば、企業の方は私たちの希望に沿えるよう意見を汲んでもらえると思います。また、自分が一番希望する職種でないものでも、体験してみると新たな興味関心や楽しみを見つけることができるため、様々な業務に積極的に取り組んでみると良いと思います。自分から行動したり質問したりすることを大切に!!

■最後に

インターンシップに参加してよかったと思う。就職活動に向けた情報を集めたり自分が実際に働いている様子を考えたりすることができただけでなく、これからの就職活動を頑張ろうというモチベーションにもなった。

■具体的な実習内容**【1日目】**

- 座学でテレビ局の仕事や群馬テレビについて知る

【2日目】

- 報道記者取材同行

伊勢崎警察署前での飲酒検問の取材

- 夕方と夜のニュースのディレクター業務を見学

【3日目】

- 昼のニュースのディレクター業務の見学

- 群馬テレビ自社制作番組「ビジネスジャーナル」の撮影現場見学

【4日目】

- 報道記者取材同行

パリ五輪レスリング金メダリスト2人への高崎市民栄誉賞贈呈式、高崎市臨時会見の取材

- 高崎市民栄誉賞のニュースの原稿執筆体験

【5日目】

- 報道記者取材同行

ワールドドリームサーカスのオープニングセレモニー、桐生市で低速電動バスを利用した自治体の取り組みを取材

桐生市での取材では実際にインタビューを行った

■インターンシップへの参加目的

私の第一志望は群馬県庁である。来年試験を受ける予定であり、職場の雰囲気はどうであるか、将来自分がそこで働くイメージができるかを知るため、インターンシップへの参加を決めた。

■実習企業・機関選定理由

先に述べたように、群馬県庁が第一志望であるため、ここでのインターンシップへの参加を決めた。

■得られた成果

申し込みの際、希望部署を伝えることができたので、産業経済部の労働政策課を第一志望にしていたが、実際に配属されたのは、農政部の農業構造政策課であった。農業に関する知識はほぼないに等しかったため、不安ではあったが、県庁に入庁することができた際には希望部署に配属されることは難しかったり、全く別の知識が必要な部署に異動になることがほとんどであったりするので、良い経験になったと思う。また、このインターンシップを通して一番印象に残っていることは、どの職員の方も自分の行っている業務の目的をはっきりと意識していたことだ。ただ作業をするだけでなく、その背景、どのような課題をどのように解決するために行っているのかを理解していた。自分が将来どの職に就くにしても、このような意識を持たなければならないと思った。

■実習を通じて感じたこと

社会に出て、仕事をするうえで、「コミュニケーション能力が重要だ」とはなんとなく理解していても、それが具体的にどのように必要かはあまり考えたことがなかった。ただ、今回のインターンシップを通して、具体的にそれを実感した。県庁で働くと、数年ごとに部署を異動することになる。そのため、徐々に慣れつつあった仕事内容を手放し、また一から始めなければならない。そのようなとき、自分一人で解決しようなど、不可能な話である。わからないことを周りに積極的に聞くことが非常に重要である。周りに助けを求めると、そのために人間関係を構築する社交性を身に着けることは仕事をするうえで必要不可欠であると感じた。

■後輩へのアドバイス

事前にインターンシップを通して何を知りたいのか、何をgetしたいのかをはっきりさせておかないと、5日間はすぐに過ぎてしまうと思う（私の実習期間は5日間であった）。価値のある経験にするためには、こちら側の準備が重要である。

■最後に

充実した5日間であった。ここで働きたいという意欲が増し、勉強へのモチベーション向上にもつながった。また、農業に関する知識は、事前に少し予習した程度でほぼないに等しかったが、この5日間で非常に興味を抱いた。群馬県の農業の現状とその課題、そしてそれを改善するために、職員の方々がどのような仕事をしているのかを知ることができた。これらの分野について、より深く調べていきたいと思う。そして、自分のまだ知らない分野に関しても、アンテナを広く張って情報を取り入れられるようにしていきたい。

■具体的な実習内容

1日目

- 共通プログラム（職員の説明、職員の方と話す）
- 農政部、農業構造政策課の概要説明

2日目

- 経営基盤系の業務説明
- 農地中間管理事業、遊休農地対策についての説明
- 企業の農業参入について調べ発表
- 農地計画係、農地調整系の業務説明
- 自作農等財産等管理事務に関する業務体験

3日目

- 農業育成室の業務説明

4日目

- 経営体支援系の業務説明
- スタートアップ企業との連携について調べ、プレゼン
- 農業検査指導室の業務説明
- 若手職員との意見交換（県庁についての質問等）

5日目

- 群馬県農業農村振興計画の概要説明
- 共通プログラム（グループごとに実習結果報告）

■インターンシップへの参加目的

私は生まれ育った群馬県の持つ課題を解決し、地元をより良くしたい、地域の力になりたいという強い思いを持っている。そのため、インターンシップに参加し、実際に業務を体験することで、群馬県が行っている取り組みや業務内容を深く理解し、どのように県や県民への貢献ができるのかを実感したいと思ったから。また、県政に携わる仕事の中で、自分が持つ能力をどのように活かせるのか、県職員にはどのようなことが求められていて、どのような力を身に付けるべきなのかを学びたいと思ったから。そして、インターンシップを通して、自分が将来、県職員として働くイメージを掴みたかったから。

■実習企業・機関選定理由

地元であり愛着のある群馬県をより良くし、地域の力になりたいという思いは、県や県民のために、地域に寄り添った仕事を行う群馬県庁で、業務を通して実現することができると思ったから。また、特定の市役所などではなく、県庁をインターンシップの実習先に選定した理由は、県庁では県全体に関する様々な事業や業務を行っているため、より多くの県民や県内企業に貢献できると考えたから。

■得られた成果

業務では、電話番号やマイナンバーなど、県民の方の情報をを用いることが多く、そのような情報を扱う際には、慎重に、また間違いのないように正確に、業務を行うことが重要だと学び、実際に、慎重にかつ正確に業務を行う能力を身に付けることができた。また、実習プログラムの中で、現場に連れて行ってくださることが非常に多く、企業局団地課や、他の課が行っている仕事を、話で聞くだけではなく、直接目で見て確かめることができ、企業局が取り組んでいる事業や業務内容、事業の規模の大きさなどをよく理解することができた。そして、現場に行くと事業内容や企業局が持つ施設について深く知ることができ、事業や施設の運営に必要な工事事務や契約、予算や広報などを行う行政事務の仕事は必要不可欠で、施設の運営を支えており、やりがいのあるものであると理解することができた。さらに、このインターンシップを通して、実際に県職員として働く方々に囲まれながら業務を体験したことで、職員の方とのコミュニケーション能力や社会人としてのマナーを得ることができた。

■実習を通じて感じたこと

企業局は利益を上げて県民に還元する組織であるが、料金は安ければ安いほど良いというわけではなく、民間圧迫とならないように気を使って料金の値段設定をしていると学んだことから、県民のことだけでなく、県全体に関わるさまざまなことを考慮して仕事をする必要があるのだと感じた。また、ひとつの事業には複数の多くの人が関わっており、ひとりひとりが自分の仕事に責任感や使命感を持つことや、他の職員の方と協力したり意見交換をしたりすることが重要であると感じた。そして、県の事業であっても市役所や民間企業など、いろいろな組織が関わっており、組織間での連携が重要だと思った。さらに、県庁は短い期間での異動が多いため、幅広い業務を行うことができ、自分のスキルを磨いたり、多くの経験を積めたりできるのが良い点であり、新しいことにチャレンジする姿勢や学び続けることが県職員には必要だと思った。県職員に求められることとして、他には文章作成能力やコミュニケーション能力、協調性などがあり、これらを学生生活の中で意識をして身に付けていきたいと思った。

■後輩へのアドバイス

挨拶や返事は必ずして、インターンシップに積極的に取り組み、時間を割いて丁寧に教えてくださる職員の方々にやる気を見せる。業務に取り組む際に、分からないことはそのままにせず職員の方に必ず聞くようにする。また、県職員として長く働いていて、さまざまな部署を経験してきている方や、入庁してまだ期間が短く、比較的自分と年齢も近く、県の仕事に対してリアルな意見を持っている方、社会人経験者の採用で県職員になられて民間企業と公共団体の違いを実感している方など、職員の中にもさまざまな方がいらっしやるので、できるだけ多くの人に質問をしてみる。人によって、感じ方や考え方は異なるので、同じ質問をいろいろな人にしてみる。さらに、移動などの時間も有効活用して、情報収集をする。

■最後に

今回のインターンシップを通して、企業局団地課の業務内容や、県職員としての心構えややりがいについて、深く理解することができた。また、自分が県職員になったらどのように働くのかをイメージすることができ、県職員になりたいという思いが一層強くなった。そして、県職員に必要な力や求められることを知ることができたので、残りの学生生活の中で意識してスキル獲得に励みたいと思った。多くの学びを得ることができ、非常に有益で充実した5日間となり、改めてインターンシップに参加してよかったと思った。

■具体的な実習内容

1日目

県の概要と採用試験についての説明、県職員によるインターンシップ体験談、先輩職員との対談企業局についての動画視聴と概要説明、団地課の業務概要説明

2日目

団地分譲業務の説明、用地買収業務の実習・説明（地権者のマイナンバーのExcel 入力）、ふれあいタウンちよだでの現場学習（ジョイフル本田・萱野エリア・上中森エリアの見学、現地案内所での業務説明）

3日目

施設管理室・各施設の概要説明新玉村ゴルフ場、ヘリコプター格納庫、群馬公社総合ビルでの現場学習群馬公社

総合ビルのホール等の利用申請の確認

4日目

県央第一水道事務所、八ッ場発電所、八ッ場ダムでの現場学習

5日目

団地総合事務所での文書の整理、グループワーク（インターンシップで印象に残ったことや、インターンシップを通じて得たもの、県庁についての感想や群馬県職員として必要なことや今後の学生生活で取り組むべきことをグループごとにまとめる）、報告会（グループごとに総括したことの報告）

■インターンシップへの参加を考えた理由

自分が伊勢崎市に住んでおり、地方公務員を目指しているため。インターンシップで伊勢崎市の業務について知りたいと思ったため。インターンシップに参加することで自分の弱点を見つけ、修正する機会としたと思ったため。

■実習先としてその企業等を選んだ理由

自分が目指している地方公務員の試験を受けることを考えた際、自分がずっと暮らしてきた一番身近な伊勢崎市は、とても魅力的に感じたから。

■得られた成果

このインターンシップは、5日間のうち3日間は、ワークショップに参加し、参加者の方々と意見を交換することで、ずっと自分が住んできた伊勢崎市について、じっくり考える機会となった。伊勢崎市役所の業務内容が、自分が想像していたものと少し異なり、自分にとってすこし身近なものに感じられた。

■実習を通じて感じたこと

自分は発言をするとき、一步引いてしまってなかなか発言できないところがあること、言葉に詰まってしまふことがあると再認識できた。来年、実際に就職の面接を受けるときに同じように言葉が出ないということのないように、この1年で、周りを見てすばやく的確な対応、また、指導してくださる方や参加者とのコミュニケーションを円滑にとれるようにしたいと思った。

■後輩へのアドバイス

自分では大げさと思っても、積極的に取り組むとよい。行った先で、挨拶をしっかりする。集合時間より、余裕をもって早めに行く。

■最後に

このインターンシップを通して、自分の改善点を再認識することができてよかった。インターンシップに行くことで、その仕事の魅力を発見できると思った。

■具体的な実習内容

1日目 (オンライン) 顔合わせ・事前説明→Webexを使用	4日目 第3次伊勢崎市総合計画の策定におけるワークショップへの参加
2日目 第3次伊勢崎市総合計画の策定におけるワークショップへの参加	5日目 振り返り・成果発表
3日目 第3次伊勢崎市総合計画の策定におけるワークショップへの参加	

■インターンシップへの参加目的

足利市民と一番近く関わることができる足利市で、市民とどのように関わっているのか、どのような活動を行っているのか詳しく知りたいと考えた。また、足利市をより良い市にするために、職員の方々がどのような志を持っていらっしゃるのかもお聞きしたいと思った。

■実習企業・機関選定理由

私は高校時代、学校の近くにあったこの市立図書館に何度も足を運び、本を借りていた。高校時代に沢山お世話になった図書館で働いている方々が、どのような仕事をしているのか以前から興味があった。また、図書館を通じたイベントでの足利市民との関わりから、何を学べるのか、何に繋がるのかを知りたいと思った。

■得られた成果

普段の業務内容だけでなく、職場の雰囲気についても深く理解することが出来た。配架や書架整理の業務を通じて、本の分類や位置を覚えることが出来た。

■実習を通じて感じたこと

一般来館者は知らないような、裏側での業務も多いことを知り、体験させていただき、貴重な経験になった。本を探している人の近くの書架整理は避けるなど、図書館来館者に快適に過ごしてもらうための配慮がしっかりしていると感じた。

■後輩へのアドバイス

足利市役所での仕事をしたい人にはこのインターンシップは向いていないかもしれない。あくまで図書館での仕事なので、基本的に図書館のことしか分からない。実習のほとんどが配架・書架整理・返却カウンターの業務だったので、淡々と作業することが好きな人にはおすすめ。

■最後に

図書館の職員の方々はとても優しい方ばかりだったので、聞きたいことがあればどんどん話しかけて聞いた方がいい。

■具体的な実習内容

書架整理・配架・返却カウンター
お話コーナーの壁飾り作成
読書週間企画の飾り作成
読み聞かせ体験

特設コーナーの図書集め
おすすめ本の選定、POP作り
誕生日の新聞を見る
ブッカーかけ体験

■インターンシップへの参加目的

社会人としてのマナーを学ぶ。食品加工機械について学ぶ。社員の方々と会話をして雰囲気を知る。5日間のインターンシップを経験したかったから。

■実習先企業・機関選定理由

食品工学プログラムに所属しているが、食品加工機械メーカーで学んだことを活かせるのかを知るため。ホワイトな企業であると知っていたので実際にどんな感じなのか知りたかったため。

■得られた成果

多くの社員の方々とお話し、雰囲気を知ることができた。入社してから自分には何ができるか、何を学ぶ必要があるかを知ることができた。会社のことや機械について詳しく説明していただき、学びを得た。若手の社員の方々と時間を取っていただき本音を聞いて、内側の部分まで企業のことを知ることができた。魅力を感じた。社員の方々と同じように社員食堂を利用したのも良かった。

■実習を通じて感じたこと

初日に入口に向かって敷地内を歩いていたら、通りかかった社員の方が「頑張ってるね」と笑顔で声をかけてくださったことが印象に残っている。毎日出勤と退勤で、守衛の方が優しく声をかけてくださって緊張がほぐれた。どの部署の方々も、質問に丁寧に回答していただき、社員の皆様が非常に温かく、社員の方々同士の会話からも雰囲気の良さを感じられた。平均勤続年数が長いことに納得できた。他にもエピソードを聞いて働きやすい会社だと感じた。各部署での研修で、私が提出したエントリーシートを管理職の方だけではなく、若手の方など皆様が細かく読んでくださっていた。実習ではお話を聞くだけではなく、実際に仕事を体験して多くのことを学ぶことができた。

■後輩へのアドバイス

1人での実習だったため、私だけのために管理職の方々が時間を取ってお話をしてくださったので緊張感があったが、これほど濃い内容を得られる企業はあまりないと思った。自主応募でインターンシップに参加すると、ほとんどが説明を聞いてグループワークをして終わりなので、この経験は非常に勉強になる。

■最後に

意外にあっという間の5日間だった。お忙しい中時間を割いてくださった多くの社員の方々に感謝申し上げます。

■具体的な実習内容

1日目：人事部の方から会社説明、社内・工場見学、開発職の説明

2日目：SES部の研修（説明）

3～5日目：技術サービス部の研修（仕込みから成形まで）

■インターンシップへの参加目的

官公庁または一般企業で悩んだ際に、行政職の1つとして県職員に興味をもったため。また、実際の職場の雰囲気や業務を体感し、将来どの業種に就きたいかを選ぶ指標にするために参加した。

■実習先企業・機関選定理由

群馬県庁のインターンシップに申し込んだ理由は行政職に興味があり、県職員として働いたときの自分の姿をイメージするため。

■得られた成果

- 社会人としてのコミュニケーションの取り方やその大切さを学ぶことができた
- 1つの課の中でも業務内容が多岐にわたっており、広く浅く県職員としての業務を知ることができた
- 財産有効活用課の業務内容について理解することができた
- 職員の方と現場の方とのやり取りに立ち会い、どのような視点で現場を見て業務に携わっているかを学ぶことができた

■実習を通じて感じたこと

公務員というと、指定された席でデスクワークを行うイメージだったが、実際は職場のフリーアドレス化が進んでおり、県庁舎の外での業務や他部署の人との交流が多く、従来のイメージと大きく変わった。県職員が実際に現場に赴いて打ち合わせの様子を見学して、現場視察に必要な知識だけでなく、分からないことを積極的に質問する姿勢など仕事をする上で欠かせない要素を理解することができた。

■後輩へのアドバイス

インターンシップは、インターネット等に掲載されている企業の情報だけでは知ることのできない現場ならではのリアルについて知ることができる良い機会です。初めて会った人と作業をしたり、働く経験をしたことによって仕事に対する理解が深まるだけでなく、自分に向いていることや苦手なことについても知ることができます。またインターンシップに参加して得られるものは人それぞれですが、なんとなく参加するのではなく、参加した後に自分がどのような成果を得たいかを考えて参加してみるとより良いインターンシップになると思います。

■最後に

私は5日間インターンシップに参加して、県職員の業務内容や勤務形態など知らなかったことを知ることができました。また、同じインターンシップに参加した人や県職員の方々と休憩時間等でコミュニケーションをとり、何気なく参加しているだけでは得られない成果を得ることができました。そのため、今回のインターンシップの参加目的である職場の雰囲気や業務については、よく知ることができました。この経験から活動の方向性を決めていきたいと思いました。最後に、今回のインターンシップに関わったすべての職員の方に心より感謝申し上げます。5日間ありがとうございました。

■具体的な実習内容

〈1日目〉(全体/リノベーション推進係) インターンシップにおける諸注意および県の概要と採用試験について、先輩社員による群馬県庁のインターンシップ体験談・先輩社員と語る座談会、県庁31・32階の改修後確認、県民駐車場屋上スペースの有効活用案について、ウェディングフォトの選定

〈2日目〉(財産管理係) 前橋警察署に拾得物の届出、警備・駐車場の日報報告立会い、昭和庁舎管理事務室との例月ミーティング、駐車券データ更新作業、公用車駐車場の巡回、公用車の鍵の受け渡し

〈3日目〉(財産活用係) 財産活用係の仕事内容説明、職

員駐車場の雑木・竹伐採の打ち合わせ、職員駐車場の掲示物作成および掲示、群馬会館へ訪問

〈4日目〉(長寿命化推進係) 長寿命化推進係の仕事内容および訪問予定地の業務内容説明、県立自然史博物館へ現地視察、安中土木事務所の工事進捗確認

〈5日目〉(県庁者保全係/全体) 芝刈りロボットの点検、県庁内の空調および電気設備の視察・タービン発電の試験、県庁33階のヘリポート視察、電話交換設備の視察や情報通信係の改修工事現場の訪問(排煙・空調・スプリンクラー設備の説明)、グループワーおよび報告会(実習内容の共有)

■インターンシップへの参加目的

大学卒業後の進路として前橋市役所の土木職を考えていたため、インターンシップに実際に参加することで直接職場の雰囲気を感じたり、働いている人の話を聞き具体的にどんなことを行ったりしているのかなどといった実際に職場に行ってみないと分からないことを知りたいと思いインターンシップに参加しようと思いました。また土木職の市役所公務員は自分に適している仕事なのか、自分がやりたい仕事であるのかを知るためにも参加したいと思いました。

■実習企業・機関選定理由

人と関わる機会が多く、人々の生活に影響を与えられるという仕事のやりがいがあり、安定して給料を得ることが出来る市役所の土木職に興味があったため。

■得られた成果

このインターンを通して前橋市民である自分が知らなかった前橋市の一面や前橋市が進めている活動やその活動を進める上でどの課がどんな仕事をしているのかを詳しく知ることができ、自分が住んでいる市をより魅力的な場所にすることに貢献できるこの仕事が魅力的に感じました。また構造物を作るという面で仕事がどんな効果をもたらすのか目に見えて実感できる瞬間があるというところや建物が〇から完成までの過程にかかわることが出来るところに改めてとても魅力を感じました。私は就職先を考えていくうえでやりがいがあるかが大事だと思っています。だからまちを少しずつ変えていくことができたり、人々に影響をもたらしたりできるこの土木職公務員の仕事は自分がやりたい仕事なのではないかと感じました。またたくさんの人と関わり、様々な考え方に触れられるため、色んな刺激を受けて自分を成長させることが出来る環境だということも実際に感じられました。

■実習を通じて感じたこと

このインターンシップに参加する前に事前にどんな仕事をしているのか調べたことがあります。ですが簡潔に仕事内容が書いてあったため具体的には実際どんなことをやるのか分かりませんでした。だから今回のインターンシップを通してそのあいまいだった点を詳しく知ることが出来たため以前よりもこの仕事に対して細かいイメージをすることができるようになりました。だからインターンシップに参加してとても良かったと感じています。また実習では実際に作られた構造物を現場に行ってみたことで人々の生活に役立っていることを実感しました。そしてまちを少しずつ変えていく力がこの仕事にはあるということを感じました。

■後輩へのアドバイス

自分が気になっている仕事があるならインターンシップに参加することをお勧めしたいです。インターンシップに実際に参加することで自分にとってのその仕事のイメージが少なからず変わると思うし、長く働くうえで職場の雰囲気が自分に合っているのかを確かめるのは大事だと思うからです。

■最後に

今回のインターンシップを通して、職場の雰囲気やその仕事のやりがいを知ることができました。だから自分の進路を考えていくうえで大変役立ちました。

■具体的な実習内容

一日目は午前都市計画課の座学を学び、午後にその座学で学んだ現場に行き前橋市の歴史について触れました。

屋外広告物に関して大きさや設置できる場所が制限されていて、広告物を設置してはいけない禁止区域があること、市ごとに屋外広告物の許可の登録が必要になってくるということを学びました。またそれに違反している屋外広告物は地道に調査するしかなく、毎年どの違反物を調査するかが決まっているということを知りました。

歴史まちづくり推進事業は前橋公園の臨江閣が登録されたことによって進められるきっかけになったということや歴史的風致を維持するために建築物を修繕維持している活動について学びました。実際に臨江閣や総社神社、

赤城神社、上泉伊勢守などの歴史的風致を見ました。全国の歴まちカードにも臨江閣が載っています。歴史的風致形成建造物に指定した後は指定標識を作ったり、建物の様々な部分の改修を行ったりしているのを実際に見学しました。

二日目は都市計画について非線引きや線引きされているところの説明や用途地域の話、将来の都市構想として都心核や地域核を中心にコンパクトなまちづくりを目指していることなどを学びました。3日から5日目は再開発事業の説明やコロンシティの現場見学、マチスタントの説明、前橋の商店街付近の街歩き、道路整備事業の説明とその現場見学を行いました。

■インターンシップへの参加目的

働く際のイメージを明確にする。ソフトウェア開発の業務内容を体感する。自分の持っているスキルがどのように活かせるのかを確認する。自分の足りないところを自覚し、今後の勉強やキャリアパスの参考にする。

■実習先企業・機関選定理由

実習先が家から近いこと。大きな企業であること。モノづくり分野において昔からトップ企業であること。

■得られた成果

ソフトウェア開発の業務内容理解、楽しさについて気づくことができた。働く際のイメージを明確にすることが出来た実習先の人々の雰囲気を知ることができた。

■実習を通じて感じたこと

実習を通して、開発の難しさややりがい、そして働くことに対するイメージの変化を実感しました。ソフトウェア開発については、1年間のC言語学習経験しかなく、自分にできるか不安でした。実際に実習に参加すると、開発の規模の大きさや多くの課題に直面し、苦勞しましたが、社員の方々が丁寧にサポートしてくださったおかげで、システムを完成させることができました。その過程で、開発のやりがいや楽しさを強く感じるようになりました。当初、働くことには「大変そう」というイメージがありましたが、実習を通じて、大変さを乗り越えるやりがいを発見しました。また、社員の方々と交流を通じて、フルフレックス制やリモートワークなど、充実した制度が整っており、ワークライフバランスの取れた働き方ができることにも魅力を感じました。

■後輩へのアドバイス

夏のインターンシップはエントリーが6月のところが多いので、早めに対策しておくべきだと思います。また、コミュニケーション能力の重要性についても感じました。私は学部生で、研究もまだしていないため、主にアルバイトやサークル活動により身に付けたコミュニケーション能力をアピールしました。エントリーシートや面接では自分の特性やスキルを如何に上手に、相手に伝えるかが重要だと感じました。エントリーシートは、インターンシップ合格者のエントリーシートをネットで調べ、参考にしながら作成し、面接は予想される質問の回答集を作成して練習しました。

■最後に

インターンシップに対して、少し億劫な気持ちでいたのですが、実際に参加した結果、とても楽しい10日間でした。実習内容がとても楽しく、多くの学びを得ることができました。社員の方々と多く交流できたため、働く際のイメージを明確にすることが出来ました。また、インターンシップ生同士も仲良くなることができました。実習生の多くは同じホテルに宿泊していたため、とても仲良くなり、今でも連絡を取り合う仲間を作ることができました。総じて、とても楽しく、成長できるインターンシップでした。

■具体的な実習内容

業務用エアコンの組み込みソフトウェア開発

1日目：オリエンテーション、工場見学

2日目～4日目：室内機ソフトウェア開発 室内機の新しい制御システムを考え、仕様書を作成し、プログラミングを作成した。

5日目：実機確認 自分で作ったソフトウェアを実際の室内機に組み込み、きちんと動作するか確認した。

6日目～9日目：室外機ソフトウェア開発 室外機の通

信に関する先行開発を体験した。マイコンの設定を行い、通信を行った。

10日目：成果報告書作成、成果報告会 部署の方々の前で実習内容に関するプレゼンテーションを行った。その他に若手社員交流会や、女性社員交流会や、同期交流会、部長面談、技術長面談をしていただいた。また、個人的に技術営業に興味があったため、個別でお願いし、技術営業の方との交流の場を設定していただいた。

■インターンシップへの参加目的

- 自身が興味のある分野で、その業界の現状を知りたかったから。
- 社会に出る前に、自身の強みや弱みを理解し、客観的に見たかったから。
- この会社のみならず、いろいろな会社を見ることで、自身の視野を広げたかったから。
- 新しい知識や知見を広げることができれば良いと考えたため。
- 大学院に行ってからインターンシップに行くよりも、学部三年で一度インターンシップに参加した方が、早いうちから経験を積むことができ、大学院でインターンシップに参加するときに役に立つと考えたから。
- 単位を取得するため。

■実習先企業・機関選定理由

- 私の出身地の隣町に位置しており、実際の就職を考えたときに候補に挙がる一つだから。
- 計測機器メーカーの大手であり、実験でも使用しており、その精度に感動し、どのような技術で作られているのかを体験したかったから。
- 大きく安定している会社であり、その会社で働いたときのイメージをつかみたかったから。

■得られた成果

- チームでコミュニケーションをとり、より良い製品を作り上げるという体験より、自分が考えたことをどのようにわかりやすく相手に伝えるかといったコミュニケーション能力を高めることができた。
- 同じチームの人は私が思いつかないような発想で、電圧計の精度を向上させ、電気の知識を深めることができた。
- 自身の得意分野であるプログラミングは、今回のインターンシップの実習でも生かすことができ、コーディング技術を再確認できたとともに、あまり触れたことのないプログラミング言語だったため、いい経験になった。
- 逆に、自身があまり得意としない電気回路やアナログ回路などのハード面では、チームのメンバーの後を追いかけるような形となってしまったため、未熟な部分であることがよくわかった。

■実習を通じて感じたこと

- 働いて成果を出すということはとても大変であるということを感じた。
- 自身が担当した製品が、より良い結果が生まると達成感を感じた。
- 製品開発では、限られた部品や納期で、より良い製品を作るため、その難しさを感じ、逆にそれを乗り越える技術者の腕の高さを痛感した。

■後輩へのアドバイス

- 日置電機さんのインターンシップはかなり実践的な内容で、やる内容もとてもハードです。しかし、知識を深めることができますし、良い体験ができると思います。
- 複数人で協力して成果を出すというスタイルですので、協力し何かを成し遂げる達成感や大切さも学べると思います。

■最後に

- とても充実したインターンシップをありがとうございました。

■具体的な実習内容

日置電機の会社紹介、アイスペイク、社員フリートーク、用のプレゼンテーション資料作成、成果報告会
電圧計の精度向上のためのグループワーク、成果報告会

■インターンシップへの参加目的

今回、インターンシップに参加させていただいた目的は、工場見学会に参加させていただいた際に、ベアリングに関して興味を持ち、さらにミネベアミツミについて知りたいと思い、参加させていただきました。もともと機械系の業界の企業に就職したいと考えており、実際に工場でどのように仕事しているのかをインターンシップを通して知りたかったためインターンシップに参加させていただきました。

■実習先企業・機関選定理由

学生支援係が応募していたミネベアミツミ軽井沢工場の工場見学会に参加した際にミネベアミツミに興味を持ち、製品をどのように開発・製造しているのかについて知りたいと考えていたため。また、工場見学会で機械系の業種に興味があることを伝えた際に、インターンシップに参加してみないかと人事課の方に声をかけていただいたため。

■得られた成果

今回のインターンシップでは、より長く回るハンドスピナーの研究・開発と題して、グループで研究・開発を行いました。その中で自分はグループのリーダーを担当しました。このようなグループワークの中で自分はリーダーを担当するという経験が少なかったため、グループワーク時にリーダーに求められる役割について学べたということは今後の就職活動だけでなく、仕事をしていくうえで必要なことが学べたのではないかと考えています。

■実習を通じて感じたこと

グループワークにおいて、グループのメンバーが出してきた案を取り入れたうえで一つの案にまとめるということがどれだけ難しいかを感じました。また、グループのメンバーたちが得意としていることはそれぞれ違うので、各分野から見た観点がとても参考になったと思います。

■後輩へのアドバイス

インターンシップに参加する上で必要なことは、自分にしかできないことを即座に見つけることだと思います。普段から研究室等で研究している分野などをみんなが勉強・研究しているというわけではないので、自分にしかわからないことというものがあるはずなので、「自分はこう思う」と必ず意見をするという姿勢が重要です。

■最後に

グループワークを通して普段、どのように製品の研究・開発をしているのかを知ることができ、とても有意義だと感じました。今回のインターンシップは工場見学会に参加しないと自分だけでは気づけなかったことで学生支援課の方、ありがとうございました。加えて、インターンシップに快く受け入れてくださったミネベアミツミ株式会社の皆様、ありがとうございました。

■具体的な実習内容

一日目は、ミネベアミツミの会社・部門紹介を行いました。2日目は午前には技術講習・テーマ詳細としてハンドスピナーに用いるベアリングに関する座学、午後にはミネベアミツミ軽井沢工場にある事業所の説明を行いました。3日目はインターンシップに参加している学生の自己紹介とグループワークを行う講師の方の自己紹介と個人で取り組む事前課題についての見解や考察の発表を行いま

した。4～8日目はグループワークを行いました。9日目は工場にあるショーケースを見学し、懇親会を行いました。最終日には工場にある事業所の見学、メイン課題の成果発表およびグループで作成したハンドスピナーと個人で作成したハンドスピナーを回したときの回転時間の計測を行いました。

■インターンシップへの参加目的

建設機械業界にはどういった職種があるのかについて、生産技術部や開発部、設計部といった複数の部署の職場や生産現場を実際に見学することを通して包括的に学び、業界に対する理解を深めたいと考えたためです。

■実習先企業・機関選定理由

元々興味があった建設機械業界において規模・業績などの面で業界トップの企業であったことに加え、栃木（小山）の工場で実習が行われるという点が自分にとって身近であり、参加しやすいと感じ、興味を持ったためです。

■得られた成果

建設機械に関する知識の他に、様々な部署の職場や生産現場を実際に見学させていただいたので、業務内容や会社が大事にしている考え方・取り組みについても間近で体験することができ、就職活動を行う上で非常に参考になりました。

■実習を通じて感じたこと

自分が思っていたよりも生産現場と開発・設計の部署が近く、密に連携を取って仕事をされていることが特に印象的でした。また、業界トップの企業として製品はもちろん、安全に対しても妥協せず、徹底しているという姿勢が感じられました。

■後輩へのアドバイス

早い段階で行きたい企業や業界が決まっている人はあまりいないと思います。有名な大手企業のインターンシップに申し込むのもいいとは思いますが、まずは大学経由のインターンシップであったり、説明会を群大で行ってくれる企業のインターンシップを検討してみるのいいのではないかと思います。その場合、普通に申し込むよりも比較的選考が通りやすく、ハードルが低いので参加しやすいと思います。

■最後に

“建設機械業界に対する理解を深める”という当初の参加目的を達成できたことに加え、社員の方々や他のインターンシップ参加者の方々ともたくさん交流することができ、非常に充実したインターンシップとなりました。また、社員の方々には5日間面倒を見ていただき、とてもお世話になりました。

■具体的な実習内容

2つの工場見学、生産技術部・開発部など7部署に関する部署説明、各部署の職場見学、社員交流会、“10年後

の建機のあるべき姿”に関するワーク・グループディスカッション、発表・講評、懇親会

■インターンシップへの参加目的

大学での学びに加えて、実践的な経験が学習とスキルの開発に最も効率的な手段であると考えています。そのため、私は会社でのインターンシップを重視し、個人の成長をさらに促進し、最終的にはプロのエンジニアを目指しています。さらに、日本が先進技術の国であることを考慮し、私は日本で学ぶことを選択しました。そのため、最先端の開発技術を観察し、実践的な経験を積むことで知識を拡大したいと考えています。さらに、大学院を卒業した後、日本で働くことを意図しているため、インターンシップ中にキャリアの目標に沿った開発と成長を促進する適切な雰囲気を持つ職場を見つけることを希望しています。

■実習先企業・機関選定理由

将来、プロジェクト営業担当として働きたいと考えているため、キンセイ社の今回のインターンシップに興味を持ち、参加を登録しました。このインターンシップを通じて、計画に関する業務について学び、将来の仕事に役立つ知識を得られることを期待しています。

■得られた成果

今回のインターンシップを通じて、さまざまな貴重な経験を得ることができました。工場見学をしながら新しい業務について学び、3DCADの設計も体験しました。また、AIや無人化に関する会社の計画を伺い、自分の提案を発表する機会もいただきました。

■実習を通じて感じたこと

今回のインターンシップは長期間ではなかったものの、多くの興味深い経験を得ることができました。社員の皆さんはとても親切で、就職に関する多くのアドバイスも共有していただきました。とても楽しい時間を過ごすことができました。

■後輩へのアドバイス

できることなら、ぜひインターンシップに参加すべきだと思います。インターンシップに参加することで、将来の仕事に向けて必要な知識や経験を得る貴重な機会を得られるからです。

■最後に

今回、株式会社キンセイ産業のインターンシップに参加できたことは、私にとって非常に貴重な経験となりました。さまざまな業務に携わり、有意義な活動を体験することができました。このインターンシップで得た経験は、将来の仕事において大いに役立つと確信しています。

■具体的な実習内容

今回のインターンシップでは、まず会社の工場やオフィスを見学させていただきました。その後、社員の皆さんとの交流会に参加し、就職に関する相談やアドバイスをいただく貴重な機会がありました。また、焼却装置のシステムなど、さまざまな社内システムについても説明を

受けました。さらに、3D CADを使った設計を体験し、AIや無人化に関する会社の計画を伺った後、自分の提案を発表する機会をいただきました。その際、発表や提案に対して社員の皆さんから有益なアドバイスもいただき、大変参考になりました。

インターンシップご協力をお願い

本学学生のインターンシップ等の現状をご理解いただきましたでしょうか。

「はじめに」でも述べましたが、学生が自主的に行うインターンシップ等については、特にインターンシップ参加学生を公募する企業様等の場合、学生と受入先企業様等が直接連絡を取り合うことも多く、大学が網羅的に状況を把握できるわけではありません。従って、残念ながら、大学からの学生への指導が常に適切に行なわれているとは言えません。

そこで、2025年度も売り手市場が見込まれ、さらなる就職活動早期化の予想されることから、企業等の皆様には、改めて、企業様等における学生のキャリア形成活動が当該学生の学修を阻害する要因となり、ひいては我が国の将来を担う人材の育成が阻害されるようなことにならないようご配慮いただけるよう、お願い申し上げます。

また、学生の皆様は、安易に周囲に流されず、上手にキャリアサポート室を利用して、インターンシップ等を有意義なものとし、就職活動を進めていただければ幸いです。

【インターンシップ等に関する問合せ先】

共同教育学部・情報学部・医学部（それぞれ大学院を含む）

〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2
群馬大学キャリアサポート室 インターンシップ担当
TEL 027-220-7124
E-mail career@ml.gunma-u.ac.jp

理工学部（大学院を含む）

〒376-8515 群馬県桐生市天神町1-5-1
群馬大学理工学部学生支援係 インターンシップ担当
TEL 0277-30-1062、1034
E-mail t-internship@ml.gunma-u.ac.jp



群馬大学
GUNMA UNIVERSITY